

尿路結石症患者における Protein Z などの濃度を比べる研究のお知らせ

帝京大学 薬学部・医学部では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施するものです。

研究期間：2019年11月8日～2021年3月31日

〔研究課題〕

健常人と尿路結石症患者における、血中および尿中 Protein Z および関連物質濃度の比較

〔研究目的〕

尿路結石から頻繁に見つかる Protein Z の血中・尿中濃度を健常人と比較することにより、Protein Z の尿路結石生成への関与を調べます。

〔研究意義〕

Protein Z はシュウ酸カルシウム水和物を主成分とする尿路結石にオステオポンチンやプロトンピンと共に特異的に見つかります。これらのタンパク質が尿路結石の生成において、どのような役割を果たしているかを調べて、尿路結石を予防することに繋がりたいと考えています。その第一歩として、健常人と尿路結石症患者における、血中および尿中 Protein Z および関係のある物質の濃度を比較します。

〔対象・研究方法〕

2007年1月から11月に帝京大学医学部泌尿器科学講座を受診した尿路結石症患者さんについて、当時、血中および尿中 Protein Z の測定を実施しました。また2008年10月に実施された帝京大学薬学部定期健康診断において協力していただいたボランティアの血中および尿中 Protein Z の測定を実施しました。ボランティアの方々の測定値を健常人の値とし尿路結石症患者さんの値と比較します。また、尿路結石症患者さんについては、当時のカルテから、年齢、性別、血中アルブミン、BUN、クレアチニン、尿タンパクなどの情報を収集し、詳細な検討を行います。

〔研究機関名〕

帝京大学薬学部、医学部泌尿器科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

本研究では、当時測定した Protein Z の血中・尿中濃度と、その際の2008年3月までカルテに記載された尿路結石に関連する検査値を使います。個人名が特定できないように解析を行い、本研究で得られた情報を公表する際には、患者が特定できる情報を含まないよう十分配慮します。研究対象から除外してほしい旨の申し出があった場合には、データの削除を行います。データを含む電子ファイルは、研究者が研究室の施錠できる場所にて厳重に管理します。本研究で取り扱うデータは本研究の目的のみに用い、他の研究機関に提供することはありません。

〔その他〕

本研究への協力によって費用が発生することや、謝礼を支払うことはありません。

対象となる方で、本研究への測定値の使用を承諾できない場合や、研究についてより詳しい内容を知りたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：金子 希代子(帝京大学薬学部臨床分析学研究室 教授)

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-8068